

経尿道的膀胱腫瘍切除術(TUR-BT)を受けられる患者様へ ～入院診療計画書～

泌-5.26-1

	氏名 _____ 様		病名: 膀胱癌		症状: 血尿 ・ その他 _____		年 月 日	
経 過			 手術には _____ 時 _____ 分にいきます					
	入院時 手術前日		手術当日		術後1日目	術後2日目	術後3日目以降	
			手術前 手術後					
月 日							退院日は患者様によって異なります	
目 標	・手術について理解し、準備が整っている。 ・安心して手術に臨むことができる。 ・心配事や眠れないときは早めに看護師にお知らせください。				【手術後】 ・痛みが最小限で過ごすことができる。 ・血尿による尿管の閉塞がなく経過する。 ・尿管を抜いた後、排尿がある。 ・残尿感、残尿がない。		【退院基準】 ・残尿が無い。 ・発熱が無い。	
			尿の管の違和感や痛み吐き気等つらい症状があるときは、 看護師にお知らせください。					
食 事	 通常食です (食事制限がある方は制限食)		 朝昼食べられません		看護師が麻酔が覚めたことを確認後 飲水・食事が可能となります		 水分は多めに摂るよう心がけましょう	
	時以降食べられません		時以降水分は とらないでください					
安静度	 制限はありません		手術室には歩いて向かいます。 歩けない方はストレッチャーで向かいます。		帰室後はベッド上安静、麻酔がさめたら 医師の指示で歩行可能となります			
排 泄			 朝排便が無ければ 座薬をします		手術中に尿の管が入ります。 また、管の閉塞を防ぐため洗浄する場合があります		 血尿の状態をみて午前中の回診で尿の管を 抜きます。 尿の管を抜いた後の1回目の尿はカップにとっ て見せて下さい。 血尿と残尿を調べます。	
清 潔	 入浴しましょう		安静のため入浴はできません		シャワー浴出来ます			
内服薬 点 滴	 内服薬を確認します		 薬剤師より薬について 説明があります		時常用薬を飲みます 時頃点滴をします		★手術中抗菌薬の点滴をします ★痛い時は痛み止めを使用します 痛い時は我慢せずお知らせ下さい ★食事が開始になると内服薬も開始しま す。	
					★手術中抗凝固剤は医師の指示で再開 になります			
検 査					酸素吸入をします 心電図モニターを装着します			
説 明 指 導	入院生活、手術に関する説明をします 麻酔科医による説明があります 必要に応じて栄養相談があります 特別な栄養管理の必要性 (有) ・ 無		 注意 <手術室へ行く前に> 貴重品は家族又は金庫に保管して下さい 眼鏡、入れ歯、指輪、カツラ等ははずします(補聴器はつけたままで行きます)		術後説明 		退院後の治療に ついて説明します 組織の結果は 外来でお話します	
					40歳以上の方は、別紙《総合機能評価表》を用いて総合 的な機能評価を行う場合があります。			
備 考	《手術に必要な物》 テープ止めタイプオムツ 1枚		主治医: _____ 印		看護師: _____		旭川赤十字病院3階みなみ病棟 	
			主治医 署名: _____		主治医以外の担当者 薬剤師: _____			
			※主治医の押印がある場合は不要		栄養士: _____			

※状況により変更になる場合があります